

MAKING

ART

MADは“現代アートの学校”です。

キュレーション・プラクティス(実践) / キュレーション・ベーシック(基礎)
アート+コミュニケーション / アーティスト / マガジンの基本5コース

コース・ディレクター=小澤慶介(AIT) / ロジャー・マクドナルド(AIT)

講師(敬称略・50音順)=秋元雄史(金沢21世紀美術館 館長)

飯田志保子(東京オペラシティアートギャラリー キュレーター) / 石井孝之(タカ・イシイギャラリー 代表)

江澤健一郎(立教大学 非常勤講師) / 遠藤水城(アークス・プロジェクト ディレクター)

逢坂恵理子(横浜美術館 館長) / 木奥恵三(フォトグラファー)

DIFFERENT

NOT A SCHOOL

TOOL OF

CONTEMPORARY

ART

ORGANIZED BY
ARTS INITIATIVE TOKYO



北川フラム(アートフロントギャラリー 主宰 / 地中美術館 総合ディレクター / 新潟市美術館 館長)

郷泰典(東京都現代美術館 教育普及係 学芸員) / 古平正義(アートディレクター) / 塩見有子(AIT)

杉田敦(美術批評家 / 女子美術大学 准教授 / オルタナティブ・スペース art & riverbank ディレクター)

鈴木明(建築家) / 住友文彦(AIT) / 崔敬華(フリーランス・キュレーター)

辻憲行(東京都写真美術館 学芸員 / 翻訳家) / 中村政人(美術家) / 永吉文子(SCAI THE BATHHOUSE)

名和晃平(アーティスト) / 西川美穂子(東京都現代美術館 学芸員)

藤城里香(無人島プロダクション 代表) / 帆足亜紀(アート・コーディネーター) / 堀内奈穂子(AIT)

南薫宏(女子美術大学 教授) / 宮崎香菜(BT/美術手帖 編集部) / 毛利嘉孝(東京藝術大学 准教授)

森弘治(美術家) / 柳下朋子(日本経済新聞社) / 吉本光宏(ニッセイ基礎研究所)

ART

「見て、感じる」から一歩先へ——現代アート「なぜ、この表現？」を、美術史や歴史、社会の仕組み、経済の動き、現代という時代性から、共に考えてみよう。

MAD (Making Art Different = アートを変えよう、違った角度で見てみよう)は、NPO法人アーツイニシアティブトウキョウ [AIT/エイト]が2001年に開講した、現代アートの教育プログラムです。2009年度のMADは、国内外の美術制度の変化やそれに関する議論を取り上げるほか、市民の手によって立ち上がる草の根的なアートの運動にも注目します。キュレーターやギャラリスト、アーティスト、評論家などの専門家を迎え、国内だけでなく、広くアジア諸国・地域あるいは欧米で注目されている現代アートの実践や現象を、美術史や社会学、哲学思想をたよりに、より多角的に、深く、体系的に捉えて考察します。2009年秋期・冬期(2009年9月～2010年3月)は、「アート+コミュニケーション[後期]」、「アーティスト」、「マガジン」の3コースが開講されます。受講生は各コースの必修レクチャーのほか、指定された数の「フリー・ブロック」を選択し、受講することができます。また、短期間で集中的に特定のテーマについて考える「集中講座」が5講座開講されます。全てのコースは代官山のAITルームにて行われます。

アート+コミュニケーション [後期]「公共と美術編」「現代アートと社会をつなぐ」

アートと社会のつなぎ手になりたい学生や社会人、自立したアート活動に関心のある方、アーティストやアート・マネージャーを主に対象としたコース。日本国内における美術を取り巻く状況と実践を考察し、知識としての美術作品や美術史と生活が行われている社会とを具体的につなぐ可能性を探る。キーワードは、「公共性」や「オルタナティブ」。美術館やギャラリーなどの美術制度では捉えきれない美術の多様性を、いきいきとした生活のレベルから考え始める。また、東京都現代美術館においてワークショップも行き、アートの現場を体験する。

2009年9月「公共と美術編」開講/4ヶ月コース/定員20人/¥79,800(税・諸費用込)

アーティスト “「アーティスト」として生きる”

作品やプロジェクトの制作を行っているアーティストで、現代アートを動かしているアート界について知識を得たい、自分の作品を客観的に見つめ直す機会を持ちたい、海外の美術系大学へ留学をしたいと考えている方を対象としたコース。

「美術界の仕組み」や「現代の視覚文化」などについてのレクチャーと、キュレーターや美術評論家をゲストに交えて、模擬プレゼンテーションを行う。制作から発表までの活動を支えるために最低限必要とされる知識や理論、またプレゼンテーション・スキルを学ぶ。

2009年9月・2010年1月開講/各3ヶ月コース/定員各12人/¥38,850(税・諸費用込)

マガジン “世界のアートシーンの今を読む”

リアルタイムな世界のアート、注目のアーティストや話題の展覧会、アート・マーケットの動向などについて知識を得たい社会人、学生、アーティストを主に対象としたコース。

海外のアート雑誌やウェブの英文記事を読み、コース・ディレクターや受講生がお互いの考えを出し合い、話し合うことで、世界各地で展開する現代アートを読み解く。アート・マーケットの情報や、現代アートを巡る新たな議論や視点に関する記事で、国内の美術雑誌ではなかなか触れることのできないアートの一面に迫る。

2009年9月・2010年1月開講/各3ヶ月コース/定員各12人/¥36,750(税・諸費用込)

集中講座

短期間に特定のテーマについて専門的な知識を習得したい方を対象としたコース。2009年度後期は、「環境・芸術・想像力—芸術による、環境へのしなやかなアプローチ」(岸沢高志)、「マルチチュードとアート—芸術のみが社会を変える」(廣瀬純)、「現代アート A to Z」(ロジャー・マクドナルド、小澤慶介)、「絵画の歴史—近代から現代まで」(保坂健二郎)、「アルカイック・ノスタルジア—身体の回帰とアートの拡張」(ロジャー・マクドナルド)をテーマに、5講座を開講。(フリー・ブロックの受講は不可。)

MAD2009 無料説明会「MADオープンデー」

各コースの概要説明後、質問を受け付けます。クラス見学会は行っておりませんので、この機会をご利用ください。

2009年秋期コース説明会=2009年7月17日(金)19:00~20:30/2009年8月28日(金)19:00~20:30

2009年冬期コース説明会=2009年11月27日(金)19:00~20:30

MAD2009 資料請求・お問い合わせ/「MADオープンデー」のお申し込み

件名を「MAD2009資料請求」あるいは「MADオープンデー参加希望」とし、氏名、メールアドレス、電話番号、関心のあるコース名、参加希望日を明記したメールを、office@a-i-t.netまでお送りください。資料をご請求の方には、プログラムの詳細が掲載されているリーフレットとお申し込み用紙をお送りします。www.a-i-t.netでもコースの詳細をご確認いただけます。

NPO法人アーツイニシアティブトウキョウ [AIT/エイト]とは?

AITはキュレーターやアート・オーガナイザー6名が、現代アートと視覚文化を考えるための場作りを目的として、2002年に設立したNPO団体です。個人や企業、財団あるいは行政と連携しながら、現代アートの複雑さや多様さ、驚きや楽しみを伝え、それらの背景にある文化について話し合う場をさまざまなプログラムをとおして創り出しています。



NPO法人アーツイニシアティブトウキョウ [AIT/エイト]

150-0033 東京都渋谷区猿楽町30-3 ツインビル代官山A-502 <http://www.a-i-t.net> E-mail: office@a-i-t.net Tel: 03-5489-7277 Fax: 03-3780-0266